

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 麻生鳥のさえずり公園

第 22 号 2008 年 9 月 30 日発行 発行 ; 麻生多摩美の森の会
発行責任者 ; 勝田 政吾 編集者 ; 木村 信夫

多彩！里山の「小さな木」の楽しみ

木村信夫

初夏の観察会は雨天延期で 6 月 28 日に実施され、自然観察指導員、高橋英さんのガイドで麻生多摩美の森周辺を、自然遊歩道からふれあいの森の山道へと歩きました。そのなかで、この森には、よく目立つ高木のほか、ふだん見過ごしている「小さな木」の中木・低木・林床草本が、実に豊富に育っていることに、改めて気づかされました。

斜面一箇所に 30 種もの高・中・低木

そこで 7 月 11 日に再度高橋さんの指導で、中木・低木を中心に簡易調査をしました。下の写真は栗の東側、遊歩道との境界斜面です。ここには、高木はコナラ・クヌギ・スギがあり、その下に中木のアカメガシワとヌルデが元気に伸び、さらには、ニワトコ・シラカシ・アラカシ、若いコナラ・エゴノキ・エノキが競うように枝を広げています。その下方には、カマツカ・ゴンズイ・ムラサキシキブ・キブシ・ヤマグワ・サンショウ・タラノキ・ガマズミ・ツルウメモドキ・アオキなど、さらには地面近くに低木のコゴメウツギ・モミジイチゴ・ニガイチゴ・サルトリイバラなどが息づき、細かく調べると幅 20m ほどに 30 種以

上はありそうです。

アカメガシワやヌルデは草原が森に変わるさいに、まず成長する「森づくりのパイオニア植物」です。やがて林が育ち、林内や縁にはやや日陰でも育つムラサキシキブやゴンズイなどが生え、美しい実で野鳥を呼び寄せます。こんな風にして、植物・動物相が豊かになっていくのが雑木林のしくみです。

そして、枝が強いカマツカは鎌の柄や、別名ウシコロシと呼ばれるように牛の鼻輪（鼻輪を通す穴あけ）に使われ、ニワトコは赤い実が果実酒、幹の髓が顕微鏡観察の切片作成用のピスに、ヤマコウバシの葉は飢饉のときの食用など、多彩な植物は人びとの暮らしに多彩な恩恵をもたらしてきました。そんな里山の木々の豊かさを見つめ、大事にしていきたいと思います。（写真：上からアカメガシワ・カマツカ・ムラサキシキブ・コゴメウツギ）



遊歩道との境界斜面（栗の木の東）

多摩美の森でのヤマユリの植栽

副会長 平林謙三

今年も開花を楽しみました

ヤマユリが今年も見事に咲きました。花期は7月上旬から下旬までの1ヶ月、一つの株の花の寿命は1週間程度でしたが、次々と花を咲かせ、我々を楽しませてくれました。20年前までは、多摩美の森とその周辺に沢山の自生のヤマユリが咲いていましたが、盗掘とこのあたりの森の樹木の生長に伴う日照の減少により、最近ではほとんど見る事が出来なくなっていました。



そこで、麻生まちづくり市民の会「ヤマユリ植栽普及小委員会」の呼びかけに応じて数年前から配布された球根を植えてきました。最初は何処に植えれば良いのか判らず、花が咲くところまで行きませんでした。3度目に成功し、昨年から花が咲くようになりました。

神奈川の県花ヤマユリ

ヤマユリは神奈川県は県花です。これは昭和29年にNHKや植物友の会等の団体が共催で全国から葉書投書で公募し、各県の花を選んだ時に決まりました。当時はヤマユリが日本固有のユリであり、栽培も輸出も神奈川県を中心に行われていたからで

す。しかし、今は神奈川県ではほとんど栽培されていません。

ユリはユリ科ユリ属に属する植物の総称で、原種は世界に約100種類あり、内15種類が日本の固有種です。このうちヤマユリが一番花が大きくて美しいので、幕末の横浜開港と同時に来日した欧米の人々を魅了し、昭和の始め頃まで盛んに輸出されました。そのため神奈川県ではヤマユリの栽培が盛んでしたが、今ではオランダの生産量が圧倒的に多く、またカサブランカ等の栽培しやすい交配種も数多く作られています。国内では食用にもなるので、主として千葉県・新潟県等で作られています。

ヤマユリは繊細で栽培が難しいとされていますが、適度の日照と水気があり、病害虫を避けることが出来れば鉢植えでも花を咲かせることが出来ます。肥料の与え過ぎは禁物で球根を植える時は、周りを赤土などで囲み、腐葉土などが直接触れないようにする方が良いでしょう。球根の寿命は普通5年位で、種や木子(くごorきご)の発芽による世代交代がなければ新しい球根と取り替えなければなりません。

麻生区では「ヤマユリ栽培普及委員会」が栽培方法の講習会を行っていますので、興味のある方は参加してみても如何でしょうか。

またこの近くでは、国営武蔵丘陵森林公園のヤマユリが見事です。1万本のヤマユリが自生し、毎年約3千本が開花、群れて咲きます。見頃は7月下旬から8月上旬です。(東武東上線森林公園駅下車バスor自家用車、問い合わせ先「管理センター総合案内所 0493-57-2111」)

里山ボランティア育成講座のご案内

財団法人川崎市公園緑地協会では毎年「里山ボランティア育成講座」を開いておりますが、今年はその会場の一つに麻生多摩美の森が選ばれました。目下受講者 30名の募集が行われていますので奮ってご参加ください(募集は5回通し参加)。

なお第2回を12月13日に多摩美の森で行う時は、多摩美の森の会員もオブザーバーとして参加できます。全体のスケジュールは下記のようになっています。時間は毎回9時半～15時です。

第1回 11月22日(土)

会場：等々力緑地ふるさとの森

座学「川崎の緑の現状と施策、協働のあり方」、実技「道具の使い方、手入れの仕方(鎌・鋸)」、観察会「等々力緑地の生き物」

第2回 12月13日(土)

会場：麻生多摩美の森

座学「里山の樹木、手を入れて森を育てる」、実技「選木、樹木の伐採・枝打ち」、観察会「樹木博士になろう」

第3回 1月31日(土)

会場：生田東五反田特別緑地保全地区

座学「竹林の整備、手を入れて山を育てる」、実技「孟宗竹の伐採・処理」、観察会「竹林の生き物」

第4回 2月28日(土)

会場：柿生緑地

座学「里山の恵・自然の循環」、実技「しいたけの駒打ち」、調査「きのこ」

第5回 3月28日(土) 会場：黒川野外活動センター

実習作業・野外炊事・クラフト 座学「これからの里山のあり方、川崎の緑の行方」、まとめ

連絡先 (財)川崎市公園緑地協会

711-6631 担当：緑の活動支援課

早野聖地公園里山ボランティアのメンバーの来訪

9月27日(水)早野聖地公園里山ボランティアの小泉清副会長以下5名の方々が多摩美の森を訪ねて来られ、遊歩道沿いの草刈りを手伝っていただき、終了後懇談をしました。同ボランティアグループは、発足10年を記念して、探索と親交を兼ね、近隣の里山で活動しているグループを訪問して廻っているそうです。

多摩美の森は良い森だという評価でしたが、あいにく蕎麦屋「櫟」は水曜日が休日で、楽しみにして来られた方もおいでのようでしたが、残念がっておられました(平林記)。

夏の星空を楽しむ会

会長 勝田政吾

今年もオーロラ天文台・渋谷星の会主催の天体観測会「夏の星空を楽しむ会」が健康の森広場を使って催されました。

8月9日当日は明るいうちから曇り空だったのですが、総勢40人の参加がありました。そして会長の小川さんはじめ星の会の方々によって望遠鏡やこの季節の星座の説明が行われましたが、小中学生からの質問がいくつも出て関心の高さがうかがわれました。

今回はお天気のせいで星は見られませんでした。今後とも力を合わせてこの催しを続けていきたいというのが主催者側と協賛者(若葉町会と当会)との一致した思いです。ちなみに、冬の観察もという要望も出ています。

今後の活動予定 副会長 平林謙三

いよいよ稔りの秋です。栗の収穫は終わりましたが、サツマイモ・サトイモなどの収穫がこれから始まります。さらに年間を通じての最大の行事である「植樹祭&収穫祭」が行われます。皆さんも楽しい秋の行事に奮ってご参加ください。

活動日と作業予定は下記のようになります。なお10月から標準作業時間は10時～12時となります。

- 10月3日(金) 9月29日(月)に引き続き西生田小3年生の総合学習
- 10月4日(土) 草刈り、畑の手入れ
- 10月19日(日) サツマイモの収穫他(作業内容が変わることもあります)
- 11月1日(土) サトイモの収穫、麦播き他(同上)
- 11月16日(日) 植樹祭・収穫祭
- 11月25日(火) 西生田小3年生の総合学習
- 12月6日(土) 草刈り、樹木の枝払い
- 12月13日(土) 里山ボランティア育成講座(第2回、(財)川崎市公園緑地協会主催)
- 12月15、16日(月、火) 西生田小5年生の総合学習

秋は西生田小学校児童の総合学習のお手伝いがたくさんあります。是非多数の会員の参加をお願いします(連絡先は長澤副会長です)。

また10、11月の補助作業日は10月8日、22日、11月12日、14日(収穫祭の準備)、15日(同左)、26日です。

なお今年度の大きな行事には植樹祭&収穫祭以外に下記のものがあります。

- 21年2月14日(土) 市民健康の森フォーラム in たかつ(高津区役所)
- 21年2月22日(日) 里山フォーラム in 麻生(麻生市民館)
- 21年3月1日(日) 市民自治創造・かわさきフォーラム(多摩市民館)

2008 植樹祭&収穫祭のご案内

期 日：11月16日(少雨実施)

9:00～13:00 会員 8:00 集合

会 場：麻生区市民健康の森
(麻生鳥のさえずり公園)

テーマ：里山の秋を楽しもう

内容(予定)：森の管理と観察、里山の幸を皆で料理して楽しもう(山畑で育てた小麦でバウムクーヘン、大麦こがし飴、焼き芋など)、木の枝で飾りづくり。



写真(上) 07年収穫祭のバーククーヘンづくり、(下)今年の麦の脱穀

会員募集中です 貴方も仲間 緑に包まれて森づくり、親子いっしょの作業や自然体験も楽しい。どなたでも加入できます。年会費1000円。体験参加も歓迎。上記の活動日においで下さい。

麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。
<http://www.city.kawasaki.jp/73/73tisin/miryoku/sanka/mori.htm>

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

<問合せ・連絡先>

勝田政吾 044-966-7409

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com